

柳城

R y u j o

名古屋柳城短期大学報

第49号

発行所：名古屋柳城短期大学 〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-54
TEL.052-841-2635 FAX.052-841-2697

発行者：永見 勇

2004年9月1日

■新学長挨拶■ 柳城短期大学が 求められている



学長 永見 勇

2004年の4月、柳城短期大学の学長に赴任して4ヶ月がすぎました。大変に忙しい毎日であったというのが素直な感想です。その間、教職員の皆さんの意見をできるだけ聞くように心がけてきました。その過程で、現在の柳城にも様々な問題があることを教えられました。そうであるならば、改善できることはできるだけ早く改善し、今後の柳城の歩むべき方向性を共通に確認し、柳城の伝統を将来に向けてより力強い形で生かしていきたい、そんな思いを持ちながら毎日をおこなっているところです。

カナダの宣教師であったマーガレット・ヤング先生が1898年に保姆の養成目的で開いた事業が現在の柳城の母体です。すでに106年の長き歴史を歩んできた学校だけに、その伝統は大変に重いものがあります。学校の責任者として、

プロフィール
なごみ・いさむ

生年月日 1941年11月17日

出身地 広島県

最終学歴 シカゴ大学大学院「宗教学」後期課程修了、
哲学博士（PhD）1977年

職歴 広島大学、静岡大学、立教大学歴任

業績 著書『了解と価値の社会学』（出光書店、1980）

『象徴としての宗教』（創文社、1993）

『生きがい喪失とケアの哲学』（ハーベスト社、1995）など多数

これからの伝統を大切にしながら、今後の学校行政に関わっていきたくと思っています。とはいっても、その伝統をそのまま踏襲するという状況にはありません。最近の柳城を取り巻く社会環境の変化はすさまじいものがあり、柳城は自らの伝統と歴史のありかたを読み返し、現在の社会変化に対応できる体制を自ら作り上げていかなければいけない状況にあるのです。

柳城をはじめとする日本の短期大学全体は大変に厳しい社会状況に立たされています。経済界ではすでに当然となったグローバル化の流れと、自由化の流れが大学という場にも押し寄せているのです。日本の大学は入学するのは大変だが、卒業するのは簡単だといわれてきました

目次

新学長挨拶	1
新学長にインタビュー	2
田浦学長 退任される	3
保護者会会長挨拶	3
役員紹介	3
チャプレン紹介	4
合同礼拝報告	4
創立105年・短大創設50周年 記念行事報告	5
復刻世界の絵本展開催	5
専任教員の論文紹介	6
奥教授、	
日本保育学会研究奨励賞受賞！	6
今年も就職率100パーセント	7
卒業生の近況報告	7
2004年度入試結果	7
特集 附属幼稚園	8
2004年度主要行事予定	8
「柳城学院百年史」刊行!!	10
2005年度入試日程	11
2004年度の人事	11
大学ホーム・ページご案内	11
2003年度会計報告	12
編集後記	12

た。大学を設立する過程でも同じような傾向が見うけられます。大学を設立するときは、文部省（現在は文科省）は大学設置基準や教員審査などの様々な厳しい条件を設けていました。しかし、その基準やその時々で設けた制度的規制を守っていけば、教育内容をそれほど問われることはありませんでした。そうした状況が今、大きく変えられようとしているのです。

2007年には、大学の入学可能数と、受験者の数がほぼ同数となり、希望すれば誰でも大学に入学できるといった、今まで経験したことのない状況を迎えつつあるのです。偏差値の高い学校は引き続き、多くの学生が入学を希望することでしょう。しかし、そうでない学校、特に短期大学は学生の獲得がきわめて困難な状況に立たされているのです。そのことは既に以下のように愛知県の短大の統計値に示されています。

4年制の大学は大学数も学生数も平成10年に比べて、平成14年は増加をしています。それに対して、短期大学は、学校数では40校から35校に、学生数は、31,500から16,000というように約半分の数に減少していることが分かります。この統計値から、日本全体で、短大の半数が定員割れをしている現状をよく示していることが分かります。

愛知県の4年制大学

	学校数	学生数	教員数
平成10年	40	163,282人 男：102,979人 女：60,303人	7,933人 男：6,989人 女：944人
平成14年	47	180,355人 男：108,529人 女：71,826人	8,846人 男：7,520人 女：1,326人

愛知県の短期大学

	学校数	学生数	教員数
平成10年	40	31,464人 男：2,587人 女：28,877人	1,266人 男：776人 女：490人
平成14年	35	15,963人 男：900人 女：15,063人	795人 男：441人 女：354人

この事実が、近年、多くの短大が4年制の大学に移行していった社会的流れを説明してくれそうです。ただ、その中で、保育専攻だけは学生数は減りません。それは、保育関係の学科は、教員免許に関わる様々な規制を通して、競争原理があまり働いていないからです。しかし、保育関係の世界にも他の領域と同じように、競争の原理が入り込んでくるようなことがあれば、柳城は大変に厳しい状況に追いやられることも考えなければなりません。現在、小生がやらなければならぬことは、そうした社会状況が現実のものとなったとき、柳城の伝統を力強く守りきる組織体制を確立しておくことだと考えています。

新学長にインタビュー

——専門は何ですか

宗教哲学、宗教学、社会学などですが、専門かと言われると少し困るのですが、「聞いかける」ということを大切にしています。例えば「私」ということをとつても英語では「I」という一つの単語のみですが、日本語は他にも「わたくし」「僕」など色々な言い方をする。これは他者関係の強い文化だということの象徴であるのですが、こういうあたりまえのことをあたりまえとせず、社会的に追究しています。また、最も大きな問いかけは、なぜ私自身が、今ここに存在しているのかということとです。それを、宗教学という学問から答えを見いだそうとしています。

——柳城の学生に何を期待していますか。現代社会は競争原理で動いています。柳城の学生には信頼関係をまず大切にしたいと思っています。人として最も大切な時期の子どもを預かるということ、スキップを凶りながら人間関係の大切さを育んでもらいたいと思います。ただ素直な素質があるが故に物事を客観的にとらえにくい部分も多いと思うので、その点に関しては幅広い知識を身につけるよう努力してもらいたいと思います。

——少子化社会。子どもたちはどうあるべきだと思いますか。

少子化社会になれば偏差値社会が崩壊します。そのためには何か一つプロフェッショナルであることが大切だと考えます。またその一方で不可思議なこと神秘的なことなどに目を向け、感性が豊かになることも求められると思います。自分に自信を持ち、夢を持つことが重要だと思っています。

——最後に趣味はなんですか。月に一度東京にクラシックコンサートに出向きます。また、森に散歩に行くこともあります。

(聞き手・江本)



田浦学長 退任される



田浦前学長

田浦学長は、1996年4月に就任され、2004年3月をもって8年間の任期を終えられました。先生は名古屋大学教授を退官後、愛知学院大学を経て本学学長として二期（一期4年）を全うされましたが、その間多くの貢献をされました。

まず着任早々小林学長よりの引継ぎ事項であった専攻科設立に尽力され、翌1997年より専攻科保育専攻（修業年限2年、学生定員15名）が、1998年には専攻科介護福祉専攻（修業年限1年、学生定員30名）が無事認可されました。それは、先生のこれまでのご経験による指導の賜物であり、本学が保育・福祉の両方面において社会に貢献できる人材育成を目指して更に発展していくための大きな足がかりとなっています。

1998年には、柳城学院創立100周年を迎え様々な事業が行われましたが、鉄筋3階の新校舎も建築、念願であった学生ラウンジ、クラブ室、図書館書庫、マルチメディアの教室などが整備されました。2000年には、専攻科男女共学制が導入され、また新しい幼稚園「三好丘聖マーガレット幼稚園」を設立、2001年には保育科にも開学以来初の共学制が導入されました。昨年2003年度は、短大創設50周年に当たり種々の事業に取り組みました。

さて、先生のご専門は教育哲学ですが、特にデュロイ研究において著名で「デュロイとその時代」「教育的価値論」など数多くの本を執筆されています。先生を知る人は、論争を好まず常に穏やかに人に接する静かな人柄に安らぎを覚えられることと思います。

先生はキリスト者としての信仰に生き、礼拝を通して「愛をもって互いに仕える」精神を説き続けられました。特に最終講義では長崎の原爆の体験が人生を大きく変える生き方に繋がったこと、人生における創造的出会いの重要性を語ってくださり学生・教職員に感動と人間としての課題を与えてくださいました。

最後になりましたが、先生の長年の教育活動により「瑞宝中授章」を受けられたことを心よりお祝い申し上げます。80

保護者会 会長挨拶



林 裕子

歳を超えてますますご壮健でいらっしゃいます。先生の上に神さまの祝福がこれからも豊かにありますようにとお祈り申し上げます。（飯盛）

昨年は学院創立105周年、短大創設50周年の記念すべき年でした。その由緒ある名古屋柳城短期大学の保護者会会長を務めさせて頂くことになりました。保護者会会員、委員の皆様、先生方のご協力を頂き、非力ではありますが、お役に立てますよう頑張っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

名古屋柳城短期大学では、キリスト教思想の下、勉強だけにとどまらず、自己と他者の受容、試練に耐え抜く強い意志、深い思いやりの精神などをお導き頂いております。その中で日々保育や介護に必要な知識や技術を磨いておられる学生の皆様と学生の力を發揮できるようにと支

役員紹介

えておられるご家族の皆様、三位一体となって素晴らしい伝統が築き上げられてまいりました。これは、広く保育に携わる方々からの高い評価からも伺い知る事ができます。先人のご苦勞と熱意と深い愛の上に立っております事に感謝しますとともに、更なる発展を願ってやみません。

本年度は、次の方々に任を負って頂くことになりました。よろしくお願い致します。

会長	林 裕子
副会長	成田 金保
会計監査委員	若松 由充子
会計監査委員	服部 暁美
委員	三輪 千恵子
"	岡本 多江子
"	田邊 淳子
"	八田 雅子
"	堀場 弘美
"	白田 緑子
"	齋藤 美穂子
"	脇 直美
"	佐々木 茂子
"	藤松 しのぶ
"	稲吉 清美
"	東谷 恵子

チャプレン紹介

新任チャプレン
として思うこと



市原 信太郎

4月より本学にてチャプレン兼講師として働かせていただくことになりました。市原信太郎です。よろしく願いいたします。

ようやく前期が終了したところで、柳城での4ヶ月ほどを振り返ってみれば、わたしの経験不足のために、学生諸君をはじめとする様々な方々にご迷惑をおかけしながら過ごしてきたことばかり思い出すのですが、それでもその中に神の不思議な導きがあったことを思わずにはおられません。自分の知識や経験など、自分の持っているものに頼るのではなく、むしろ持っているに頼らないこと、自分の至らない点や能力不足さえも差し出して、他の教職員の方々と共に学生たちと一緒に生きていこうとすること、わたしは「愛をもって仕える」という柳城のモットーをこのように理解したいと思っております。

ある学生が授業中に語ってくれた、「人間は神に似せて造られた存在である一方、欠けているところがある。だからこそ、その欠けを補い合う存在として互いに支え合って生きていくように造られたのではないか」という言葉は、まさしくわたしの今の実感でもあります。

明るく素直な柳城生、というのが多くの方々が受ける第一印象でしょうし、わたしもそれはよき伝統として継承されることを願っています。同時に、そういう学生達の深い胸の内にある様々な思いをも受けとめていきたいと思っています。チャプレンとして、わたし自身が彼ら・彼女らの心の声に日々聴き、教えられています。これから様々な場で人間と出会い、触れあうことを職業として志す学生たちだからこそ、技術を身につけることと合わせ、柳城で過ごす時間の中で、自分という存在そのものが「愛」なのだということへの気づきが与えられるようにと強く願っています。

プロフィール

生年月日 1964年8月19日
出身地 九州生まれ、東京育ち
最終学歴 Church Divinity School of the Pacific 修士課程
修了
職歴 某電子機器メーカー勤務後、聖公会神学院と米国留学を経て、上田聖ミカエル及諸天使教会と名古屋聖マタイ教会に勤務
専門科目 キリスト教概論・キリスト教倫理・宗教学
趣味 パソコンと音楽、酒類全般
家族 妻
余暇の過ごし方 宴会を主催(！)

合同礼拝報告

7月14日(水)、チャペルにて全学合同礼拝を行いました。今年、松本普(まつもと・ひろし)さんをスピーカーとしてお迎えし、松本さんが30年以上に渡り名古屋で取り組んでいる平和・人権に関する活動について、主としてホームレス

の問題を中心にお話し頂きました。チャペル内は立錫の余地もないような状況で

でしたが、学生たちは真剣に耳を傾けていました。礼拝後に学生たちから寄せられた声からは、とても深いところで松本さんの話を受けとめてくれた様子が伺えました。

当日の席上献金は29,529円となり、松本さんを通して笹島キリスト教連絡会の働きのためにお捧げしました。



右 市原 信太郎チャプレン
左 松本 普さん



創立105年・短大創設50周年記念行事報告



ダイアン・ディストラー先生(中央)

昨年は、学院が保母養成を始めて105年、短大創設50周年という記念すべき年を迎え、様々な企画(記念礼拝・記念講演会・記念植樹(柳)など)が実施されました。とりわけ学院にとつては、短大が開設され50年という記念すべき年に、初代学長フランセス・B・ホーキンス学長の親族であるダイアン・ディストラー先生をお招きできたことは、ホーキンス学長が退職後、創立75周年に本学を

訪問されて以来の30年振りのカナダとの交流の復活となりました。ディストラー先生は、ホーキンス学長の大姪に当たり、本年5月にカナダ聖公会の執事按手を受けられ女性の聖職者としてご活躍の方です。明るく茶目つ氣たつぶり、ホーキンス学長を彷彿とさせる素敵な先生でした。特に記念祝賀会や同窓会主催の集まりでは、当時学生であった方々が遠くから駆け付けしてくださり、ホーキンス学長の思い出話に花が咲きました。ディストラー先生は、記念礼拝・祝賀会でのスピーチでホーキンス学長が戦後すぐ学院が最も困難な時期に来日されたこと、ヤング先生はじめ多くの宣教師がいかに日本人を愛し、また多くの人々から愛されたかについて述べられ「愛をもって仕えよ」の精神がふさわしい学び舎として、今後も発展していくことを語り祈ってくださいました。

記念講演会は、計3回行われました。2003年10月18日(土)には介護福祉専攻科5周年を記念し、「老いの風景」(中日新聞連載)の執筆者である渡辺哲雄先生講演(一般公開)「老いの風景」(老いのこと・死ぬこと・愛すること)。10月29日(水)は、合同礼拝(一般公開)としてアジア保健研修所財団理事長である川原啓美先生の講演「共に生きる」。11月2日(日) 柳城祭初日は、京都大学

霊長類研究所で長年チンパンジーの研究をされている松澤哲郎教授より「チンパンジーの親子のきずな」(一般公開)というテーマで興味深いお話を聞くことが

復刻世界の絵本展 開催

本学の所蔵する貴重なオズボーン、ベurlin、オーピー、クラシック・ポツブアップのコレクション(以下C)の展示会を7月12日(月)〜8月6日(金)まで行いました。

これは過去にほるぶ出版が苦心の末出版したのですが、学生が普段広げ

て見る機会がないため、期間を限定して公開し、本年度5回目(昨年は未実施)を迎えます。オズボーンCは、カナダの公共図書館にイギリス人オズボーンが1949年に自身の歴史的価値のある貴重な児童に関する本を寄贈したのが始まりです。また、ベルリンCは、世界最大級を誇るドイツ国立図書館(設立1661年)の所蔵する児童図書から選ばれたもの、オーピーCは、オックスフォード大学が所蔵するナーサリーライム(伝承童話)、特にイギリス児童文学の試金石となっているマザーグース絵本から、それぞれがみごとに復刻されて

でき、たくさん質問がフロアから出ました。また11月1日(土)は、本学ゆかりの柳の木が校庭に記念植樹されました。(尾上)

います。精巧で緻密な絵、美しく楽しい芸術性の高い絵が多く、見る者の目を楽しませてくれます。これらに加え、今年はいのち(生と死)に関する絵本を収集展示しました。いのちに関して多くのことを考えさせる今日、じっと見入る学生の姿が印象的でした。長い間単科の保育科大学として歩んできた本学を特徴づける展示会となりました。今後は、多くの卒業生・関係者の方々にも見て頂けることを願っています。(尾上)



オープンキャンパスにて(8月2日)

専任教員の論文紹介

2003年度研究紀要より

教育観と日本人の思考様式 —知識教育観を中心として—	田浦 武雄
シューベルトの歌曲集「冬の旅」(6) —歌手とピアニストの為の演奏と解釈—	野々垣文成
我が国におけるケースマネジメント専門機関のあり方についての一考察(その1)	後藤 卓郎
保育士養成校教員として児童福祉施設福祉サービス第三者評価事業に携わる意義	成田 朋子
幼児の描画における模倣の研究 —模写能力から考える—	奥 美佐子
情報化社会と教育Ⅱ —電話というメディアとメッセージ—	鬢櫛久美子
保育者を目指す学生の「自覚」について —教育実習を通して—	長根利紀代
幼児の身体表現あそびにみられる物語展開の過程(2) —図式の適応とその利用—	鈴木 裕子
「マルコによる福音書」における子ども —その役割と機能—	菅原 裕治
保育者養成短期大学における情報教育カリキュラム(4)	松山由美子
高機能自閉症児の幼稚園における援助と適応	荻原はるみ
介護計画立案時における介護職員の判断基準に関する研究(1)	三好 禎之、仲田 勝美
—B指定介護老人福祉施設の介護計画にみる実態調査—	井川 淳史
保育者効力感と親からの自立	岩井 勇児
重度の障害のある子ども達との音楽活動 —毎回の実践から捉えたもの—	安藤 昌子、飯田 和也

「柳城学院百年史」より

口絵、1章(注)、2章(注)、5章の一部、6章の一部、編集後記、資料編	尾上 明子
5章、6章	夏目 恒雄
2章の一部、5章(注)、6章(注)、資料編	中根 淳子
5章、6章、資料編	飯盛 茂子

奥教授、日本保育学会研究奨励賞受賞!

奥美佐子教授は、2003年の日本保育学会第56回研究大会において発表された「描画における模倣の効果—摂取した情報を如何に表現に適用するか—」が高い評価を受け、2004年5月、日本保育学会第57回研究大会において「日本保育学会研究奨励賞」を受賞されました。

従来、芸術の世界において「模倣」は、創造につながる面もありながら、どちらかというかと相反するものとして否定的に扱われてきました。幼児の描画過程における模倣も、保育者を悩ませてきた問題でした。奥教授はこのような模倣に関する質問を現場から多く受けたことがきっかけで、「模倣」には表現を豊かにする働きがあるのではないかという視点に立って7年前から研究に取り組み、継続的な研究の結果、描画における模倣行為の大多数は創造の力になることを実証されました。

奥教授の受賞は本学にとっても非常に栄誉ある出来事です。奥教授のこれまでの研究成果は以下の文献を参照してください。どの研究も写真が多く、幼児の自然な模倣の様子がよくわかり、非常に興味深いものです。

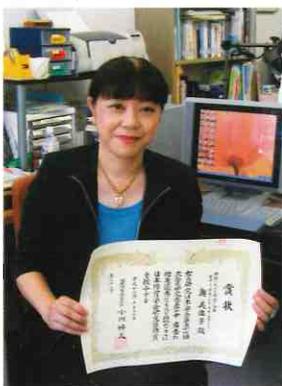
◆受賞論文

「描画における模倣の効果 摂取した

情報を如何に表現に適用するか」第56回日本保育学会大会研究論文集 2003年

◆研究論文

- ・「幼児の描画における模倣の研究—描画過程からの検討」大学美術教育学会誌第36号 2004年
- ・「幼児の描画過程における模倣の契機」第57回日本保育学会大会研究論文集 2004年
- ・「幼児の描画過程における模倣の研究—模写能力から考える—」名古屋柳城短期大学紀要 第25号 2003年
- ・「幼児の描画過程における模倣の力」第55回日本保育学会大会発表論文集 2002年
- ・「現代美術と幼児の造形における模倣のスタンス」名古屋柳城短期大学紀要 第23号 2001年



今年も就職率 100パーセント

本年度は保育科、専攻科合わせて167名の学生が就職を希望し、全員自分の夢を叶えました。(下表、グラフ)

就職した学生は多くの職場で「真面目で熱心」「明るくておもしろいがある」などと、高く評価されています。
保育科の状況

保育科の卒業生は187名でした。その内の152名が就職、26名が進学(内25名が本学の専攻科)を希望し、全員望み通りの進路を決定しました。

就職課では、1年生の後期から1年間、マナー・小論文・履歴書・実技・面接対策などのきめ細かい就職ガイダンスを実施すると同時に、学生一人ひとりの面談に多くの時間を割り当てています。また教員は、アドバイザーとして、就職課と連携をとりながら学生の進路相談に熱心に携わっています。

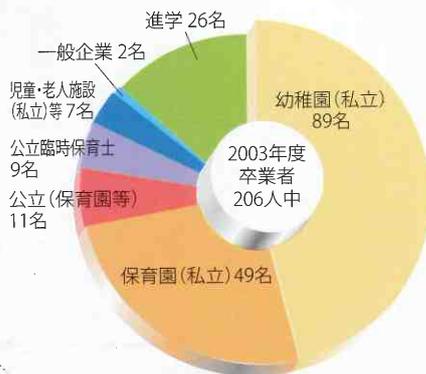
本学が、毎年就職率100パーセントを達成しているのは、こうした全学上げてのサポートの結果です。

専攻科保育専攻・介護福祉専攻の状況
本年度保育専攻を修了した学生は8名、介護福祉専攻を修了した学生は11名、合計19名です。そのうち15名が就職を希望し、全員、幼稚園・保育園・児童福祉

施設・老人福祉施設へと就職していきました。(左表)

老人施設からもたくさんの方の求人が届くようになり、両専攻とも就職率100パーセントです。(宮嶋)

	保育科	専攻科		計
		保育専攻	介護福祉専攻	
卒業生数	187	8	11	206
就職希望者	152	7	8	167
就職率(%)	100	100	100	100
進学者	26	0	0	26
就職希望なし	9	1	3	13



●2003年度卒業生の就職・進学(2004年3月31日現在)

幼稚園	柳城幼稚園 まこと幼稚園	東桜幼稚園 のびる幼稚園
保育園	日置保育園 道徳保育園	中川保育園 稲沢保育園
児童施設	麦の穂学園養護施設 乳幼児ホーム「かがやき」 障害者施設「夢の家」	
老人施設	緑生苑 (2名) 南生苑 (2名)	

●保育専攻・介護福祉専攻修了者の就職先

卒業生の近況報告

田村 紋美

平成15年度に名古屋柳城短期大学保育科を卒業して、春日井市にある知的障害児入所施設、社会福祉法人『若草学園』に就職をし、早2年目に突入しました。この施設には、知的障害を持った様々な利用者が暮らしています。

就職するまで、実習以外で知的障害者の方達と接したことがあまりなかったので、最初は不安で一杯でした。しかし今は、園全体の暖かな雰囲気と共に、利用者の笑顔に囲まれて、とても充実した日々を過ごしています。重度の利用者と毎日接していく中で、初めは何を伝えたいのか分からなかったことが、分かった時の喜びは大きなものでした。

まだまだ新米の私ですが、これからももっと勉強をして、個人の障害の特徴や性格を、今以上に理解をしていけたらいいなと思います。そして、今、若草学園を家としている利用者達が、楽しく、安心して暮らしていけるようにこれからも介助に携わっていきたいと願っています。そのためには、自分自身も毎日を元気に過ごしていけるよう、健康に気をつけています。

2004年度 入試結果

全国の短大では定員割れを起こしている現状の中で本学は幸いにも安定して学生数を確保している。
今年度の入試状況は左表の通りである。(吉田)

	入試区分	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
保育科	推薦入学試験	143名	142名	97名	96名
	一般入学試験	251名	248名	123名	85名
	社会人入学試験	4名	4名	2名	2名
	合計	398名	394名	222名	183名
専攻科	保育専攻	5名	5名	5名	4名
	介護福祉専攻	25名	25名	23名	23名
	合計	30名	30名	28名	27名

特集 附属幼稚園

学院では三園共通の附属としての保育園基本方針を新たに決めましたのでここに紹介します。

保育の基本方針

①子どもたちのために、子どもと共に創る保育を心がけています。

何よりも子どもを愛されたキリストの愛に倣い、子どもを愛し、守り、子ども一人ひとりの個性を大切に、子どもと共に創りだしていく保育を心がけています。

②子どもたちにとって、豊かな環境づくりに努め、遊びこむ体験を大切にします。

子どもは、遊ぶことによって学んでいきます。さまざまな遊びが展開できる環境を用意し、夢中になって遊ぶことから想像力や創造性、集中力が生まれることを願います。

③生命に対する感性を大切にします。

一人ひとりが神によって生命を与えられた、かけがえのない存在であることを知ることによって、自分を大切に、友だちも大切であることを知り、また自分と違う存在を認め、命ある全てのものを大切に、感謝する心を培っていきます。

④子ども一人ひとりの発達と個性を大切に、遊びや生活の場で主体的に自発的にかかわることができるように援助します。子どもが自分で考え、判断し、行動できることは生きていく上の大切な力です。一人ひとりに適切な援助をすることによって、生きる力が養われることを願います。

⑤環境を守り、平和をつくり出す人間形成を目指します。

宇宙や自然の神秘に驚き、不思議を感じることから探求する心が生まれます。身近な自然や社会とのふれ合いを大切に、さまざまな不思議を体験することによって、やがては世界にも目を向け、環境を守り、この地球を慈しみ、平和を愛する心が培われることを願います。

教育目標

「互いに愛し合うわたしたち」
(ガラテヤの信徒への手紙 5:13)

神に愛され、神の恵みのなかで育てられていることを知り、毎日を喜んで精一杯生きる心を培う

○互いに愛し合う

神が自分を愛してくださっているように、ともだち一人ひとりも愛して下さっていることを知り、ともだちの良さや違いを認め、社会性や異文化理解の芽生えを養う

○環境とのふれ合い

宇宙や自然の神秘に驚き、感動する心を大切に、探求心や自然やいのちを大切に、する心を養う

○想像力や創造性をゆたかに

神から与えられたさまざまな力を尽くして、自分で考え、想像し、表現し、創造していく楽しさを養う

○感謝する心

全ての恵みに感謝し、家族やともだちと助け合い、支えあう大切さを養う

○自分で判断する力

ものごとの判断・良い悪いの判断など自分で考えて行動する力を養う



三好丘聖マーガレット幼稚園
2000(平成12)年設立



豊田幼稚園
1978(昭和58)年設立



柳城幼稚園
1899(明治32)年設立

2004年度 主要行事予定

- 4/2(金) 入学式
- 6(火) 健康診断
- 23(金)・24(土) (保育科)合同ゼミ
ナール
- 5/24(月) 幼稚園教育実習(保育科
2年生)
- 6/21(月) 第I段階施設介護福祉実習
(介護福祉専攻)
- 7/10(土) 専攻科保育専攻第1回
介護福祉専攻推薦・社会
人第1回入試
- 14(水) 合同礼拝
- 26(月) 保育科・専攻科保育専攻
前期授業終了
- 27(火) 専攻科介護福祉専攻前期
授業終了
- 28(水) 前期定期試験開始
- 31(土) 夏季休暇開始、施設実習
(保育科2年)
- 8/2(月) 第1回オープンキャンパス
授業開始
- 9/6(月) 専攻科介護福祉専攻後期
授業開始
- 21(火) 第II段階施設介護福祉実習
(介護福祉専攻)
保育科・専攻科保育専攻
後期授業開始

柳城幼稚園

園長 中野 早苗

豊田幼稚園

園長 関 俊子

三好丘聖マーガレット幼稚園

園長 平松ちづ代

子どもたちのまつすぐな心に向かう毎に、「幼子のようにならなければ、神の国には入れない」という聖書の言葉を思い出します。小さな体で目を輝かせ、生き生き、わくわくしている子どもから感動が伝わってきて、毎日、イエス様が愛された幼子と共にいられることに感謝しています。

園目標 キリスト教保育に基づいてひとりひとりを大切に家庭的な保育を目指しています。また、毎日の礼拝を通して目には見えなくても自分を愛し、守っていて下さる神様を知り、敬い、人を愛する心、感謝する心を育てたいと考えています。

園児数 (63名)
3歳児19名 4歳児22名 5歳児22名



左から 佐藤智実、山田祥子、中野早苗、小川友紀恵

木々の緑に覆われた園庭には四季折々の花が咲き、木の実草の実、そこに集まる小鳥達虫達。恵まれた自然環境の中で子ども達は思い思いの遊びを通して心身共に健やかに成長しています。またイエス様との出会いで生きる喜び、感謝の心、思いやる気持ちも育っています。この子ども達が平和な地球を築く一員となって欲しいと願うこのごろです。

園目標 ・キリスト教の精神に基づいた心を育てる(祈る心 愛の心 感謝の心 賛美の心) ・恵まれた自然環境の中で、感性を育て豊かな創造力を養う(宇宙や自然の神秘に驚き、感動する心。探究心、自然やいのちを大切にすること) ・遊びを通して人間性豊かな子どもを育てる(自分で考えて行動する力)。

園児数 (195名)
3歳児58名 4歳児72名 5歳児65名



上段左から 酒泉裕美、粟田彩子、水野弘子、相羽真美子、竹岡良子、内海直美
下段左から 持田千夏、中島真由美、南川たか子、関俊子、渡辺敬光

附属三好丘聖マーガレット幼稚園は今年度5周年を迎えます。神様と5年間の歩みに携わって下さったすべての方々に感謝しつつ、在園児で楽しくお祝いしたいと思っています。今後も附属園としての歴史を大切に又、新しい園として果敢に挑戦し、生きる力に溢れる子どもたちの育成を目指して職員一同努力してまいります。

園目標 キリスト教の精神に基づいた幼稚園として、一人ひとりの子どもが礼拝を通して神様に愛されていることを知り、大切な存在として受け入れられている感じとる。また、のびのびと心を動かすし、探求し、判断し、想像力を持ち、創造的にさまざまな事柄に関わる子どもの育成を目指します。

園児数 (196名)
3歳児60名 4歳児67名 5歳児69名



上段左から 野々山実奈、川添麻紀、山本麻美、土川恵美、松井恵美子
下段左から 池野綾子、前崎初子、平松ちづ代、林ひとみ、小野田陽子

- 25(土) 第2回オープンキャンパス
- 10/6(水) 創立記念日(平常授業)
- 11/1(月) 創立記念礼拝
- 2(火)3(祝) 柳城祭・ミニオープンキャンパス

13(土)14(日) 保育科推薦入試

15(月) 幼稚園教育実習(保育科1年)・保育所実習(保育科2年)

22(月) 第Ⅲ段階施設介護福祉実習(介護福祉専攻)

12/11(土) 専攻科介護福祉専攻一般第1回入試

15(水) クリスマス礼拝

21(火) 音楽教員研究発表会 (P11参照)

23(木) 冬季休暇開始

1/6(木) 講義開始

12(水) 居宅介護福祉実習(介護福祉専攻)

24(月) 後期講義終了

25(火) 後期定期試験開始

2/1(火)2(水) 保育科・一般社会人入試

19(土) 専攻科保育専攻第2回介護福祉専攻一般第2回社会人第2回入試

3/16(水) 卒業・卒業・修了式

21(月) 保育所実習(保育科1年) 卒業・卒業・修了式

17(木) 卒業・修了式

「柳城学院 百年史」刊行!!



マーガレット・ヤング先生

このたび念願であった「柳城学院百年史」をようやく刊行することができました。この事業は昨年度の創立105周年・短大創設50周年の記念事業のひとつとして行われましたが、本学院初の取り組みに多くの困難が伴い、実際には長い年月を費やすことになりました。

内容は、3度のカナダでの調査を踏まえ、ヤング先生に関連した新たな資料、写真を多くとり入れ草創期の柳城を浮き彫りにした1・2章、柳城の存続が最も危ぶまれた戦中・戦後の困難な時代を明らかにした3・4章、短期大学としての出発と新しい時代をさまざまなエピソードを混じえて紹介した5・6章という構成です。全体として写真と資料を多く掲載し読みやすくなっています。巻末の明治の絵地図には、柳城関連（中部教区）の施設の箇所を入れ込みました。これま

でに、歴史学の権威である大濱教授（筑波大学名誉教授・国立公文書館理事）をはじめ多くの方々から高い評価を頂いています。本学卒業生の方ももちろん、これまで関わってくださった多くの皆様にご覧いただけることを願っています。尚本学図書館でもご覧いただけます。

（歴史資料室）

〔以下「柳城学院百年史」より抜粋〕



保育の実際

明治・大正期の柳城で働いた和田あき（大正2年卒）は、当時の園歌をはじめ唱歌や「1日の保育」について次のように書き残している。

【園歌】かがやくしやちを 名にいただいて／園守エスの みてのもと／集まる花のかずかずなるよ／早く生いたち 咲

きいでん／日毎日毎に 土かいますは／いとよやさしき／師のきみよ／暑き夏越え冬のゆきへて／やがて香はん／春の日に／蝶々よきたり 舞やとべ／あまつつかいらも／歌らん／みめぐみうくる／園生の花よ／いよいよ さかえよ 幾春も

その他の歌として、以下のような歌や英語の歌もよく歌ったという。

5人の勇士、うちもてかじやよ、われ与えんと、兵隊さん兵隊さん、こけむす門の近き野に、みよやみよや、ひらいたひらいた、すずめはチュウチュウ、Let your feet tramp、My soft ball likes to wonder、Let us now begin our sawing、I see you、Thumbs and fingers、Twinkle Twinkle など多数。

保育プログラムの一つずつは大体20分位で、朝は円座になりイエス様のお話を聞き、その後聖句を一緒に唱える。聖句は「はじめに神、天地を造りたまえり。神は愛なり。受くるより与うるは幸いな

り。」などであった。第2時限目は恩物遊びである。

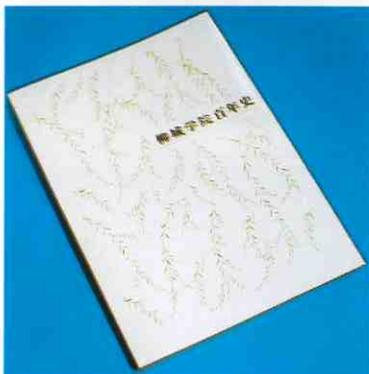
1メートル×2メートルの大きさの机には縦横の線が書かれており、その上で園児一人に1箱ずつ渡された積み木を並べたり、積んだり、自由に何かを作ったり、時には何を作るか決めて遊

んだ。思わぬよいものができて、皆で喜び合うことも多かったという。

そして外に出て遊び、また部屋でいろいろな遊戯・ダンスをする。1週間に一度は近くの草原や小山に遊びに行き、草の葉・笹の葉で何かを作ったり、草の名花の名を教えたりした。

また、折り紙、たたみ紙、縫い、豆細工などもした。月曜日から金曜日まで保育をし、土・日は休み。しかし子どもたちのほとんどが日曜日は日曜学校へやってきました。教師は土曜日に園長と一緒に次の週の打ち合わせをした。

教師たちはいつも子どもをそばにおり、よく一緒に遊んだという。そのような姿勢は親たちから非常に喜ばれた。ある時、和田は園長から、当時の子どもたちは着物の生活で下着をつけていなかったため、何か考えるように言われ、今日の下着に近いものを考え親たちに指導し作らせたという。



申し込みは
〒466-0034
名古屋市昭和区明月町2-54
名古屋柳城短期大学(総務課)まで
葉書にてお申し込みください。
1冊3,000円(送料別)

2005年度入試日程

〔保育科〕

○推薦入学試験

※日本聖公会教会推薦含む

願書受付10月25日(月)～11月8日(月)

試験日 11月13日(土)又は14日(日)

合格発表11月18日(木)

○一般・社会人入学試験

願書受付1月13日(木)～1月21日(金)

試験日 2月1日(火)・2日(水)

※社会人試験日 2月1日(火)のみ

合格発表 2月10日(木)

〔専攻科保育専攻〕

○第2回一般入学試験

願書受付1月31日(月)～2月10日(木)

試験日 2月19日(土)

合格発表2月24日(木)

〔専攻科介護福祉専攻〕

○第1回一般入学試験

願書受付11月22日(月)～12月3日(金)

試験日 12月11日(土)

合格発表12月16日(木)

○第2回一般・社会人入学試験

願書受付1月31日(月)～2月10日(木)

試験日 2月19日(土)

合格発表2月24日(木)

※詳細は各募集要項を参照してください

問合せ先 入試広報課

2004年度の人事

◆学院◆

就任 永見 勇 (理 事)

新海 英行 (理 事)

古本正三郎 (理 事)

退任 永見 勇 (評 議 員)

原 孝代 (理 事)

水山 進吾 (理 事)

菅原美恵子 (理 事)

水山 進吾 (評 議 員)

◆短大◆

採用 永見 勇 (学 長)

市原信太郎 (チャレン 基講師)

横 川 聖 (非常勤講師)

川喜田奈保 (非常勤講師)

昇任 鬢柳久美子 (教 授)

飯盛 茂子 (助 教 授)

荻原はるみ (助 教 授)

採用 佐野 雅臣 (教 務 課 長)

山内 有麻 (事 務 課 長)

異動 吉田 正 (入試広報課長)

退職 田浦 武雄 (学 長)

菅原 裕治 (チャレン 基助教授)

広瀬 文子 (事 務 課 員)

◆附属幼稚園◆

採用 平松ちづ代 (三好幼稚園長)

佐藤 智実 (柳城幼稚園)

持田 千夏 (豊田幼稚園)

土川 恵美 (三好幼稚園)

昇任 山田 祥子 (柳城幼稚園)

退職 小松 伯子 (三好幼稚園)

井上 友映 (豊田幼稚園)

元村 由紀 (豊田幼稚園)

大西かおり (柳城幼稚園)

竹岡 良子 (豊田幼稚園)

<http://www.ryujo.ac.jp/>

名古屋柳城短期大学ホームページご案内

現在のイメージを大幅に転換してホームページをリニューアルし、9月中にサイトアップする予定です。リアルタイムな更新、ページの増量、図書館のHPや附属幼稚園のHPへのリンクなど、更に充実した内容で登場します。どんどんアクセスしてご覧になってください。

- 保育科へようこそ
- キャンパスライフ
- 専攻科へようこそ
- 就職情報
- 図書館
- カリキュラム
- 施設紹介
- 入試情報
- History
- 附属幼稚園

図書館Webサイトができました

短大ホームページから利用できます

在学中だけでなく、卒業後の仕事や育児を応援する保育福祉情報のポータルサイトを目指しています。どうぞご活用下さい。

～卒業生も図書館を利用できます～

<収録コンテンツから>

- OPAC (蔵書検索) 図書館資料を自宅から検索できます
- 開館カレンダー 休館日や開館時間のチェックに
- 読み聞かせ絵本・紙芝居 年齢別のお勧め作品を紹介中
- 保育リンク集 「園の情報」「実技に役立つ情報」など、保育に役立つリンク集
- 学習と研究のためのWeb 文献、人物、法律、統計、翻訳、辞書など、便利なサイトを集めました



クリスマスコンサートのお知らせ

—音楽教員研究発表会—

日 時 2004年12月21日(火) 17:45開演(17:15開場)
場 所 名古屋市芸術創造センター(地下鉄新栄駅北 徒歩3分)
プログラム 歌曲とリストの編曲作品
 お話と音楽「ピーターと狼」(プロコフィエフ)
 ハンドベル 童謡集

出 演 本学音楽担当教員と名古屋柳城短大ハンドベルクワイア

入場無料 多くの方の御来場をお待ち致しております。

2003年度 会計報告

2003年度資金収支計算書

	科目	予算	決算
収入の部	学生生徒納付金収入	604,726	604,738
	手数料収入	14,493	14,519
	寄付金収入	10,242	10,273
	補助金収入	162,020	162,493
	資産運用収入	866	913
	事業収入	40,318	40,300
	雑収入	30,767	30,798
	借入金収入	3,325	3,325
	前受金収入	124,090	124,760
	その他収入	3,538	4,419
	資金収支調整勘定	△ 167,988	△ 179,955
	前年度繰越支払資金	717,319	717,319
	収入の部 合計	1,543,716	1,533,902
	支出の部	人件費支出	446,941
教育研究費支出		140,114	131,451
管理費支出		43,118	38,678
借入金等利息支出		13,388	12,227
借入金等返済支出		43,070	43,070
施設関係支出		39,145	38,802
設備関係支出		16,309	12,789
資産運用支出		1,510	1,500
その他支出		25,613	8,672
資金支出調整勘定		△ 6,649	△ 8,973
次年度繰越支払資金		781,157	811,228
支出の部 合計	1,543,716	1,533,902	

2003年度消費収支計算書

単位 千円

	科目	予算	決算
収入の部	学生生徒納付金	604,726	604,738
	手数料	14,493	14,519
	寄付金	10,914	10,823
	補助金	162,020	162,493
	資産運用収入	866	913
	事業収入	40,318	40,300
	雑収入	30,767	30,798
	帰属収入合計	864,104	864,585
	基本金組入額	△ 60,906	△ 22,148
	消費収入合計	803,198	842,437
	支出の部	人件費	473,185
教育研究費		210,031	197,784
管理経費		44,058	39,338
借入金利息		13,388	12,227
資産処分差額		20,580	20,439
徴収不能額・その他		14,180	2,000
消費支出合計		775,422	715,457
当年度消費収入超過額		27,776	126,980
前年繰越消費支出 //		763,285	763,285
翌年繰越消費支出 //		735,509	636,305

2003年度 貸借対照表

固定資産	1,969,298
有形固定資産	1,948,462
その他の固定資産	20,836
流動資産	852,693
合計	2,821,991
固定負債	582,623
流動負債	216,171
負債の部 合計	798,794
基本金	2,659,502
消費収支差額	△ 636,305
合計	2,821,991

2003年度決算について

- 当年度は、短大で427名、附属幼稚園で479名といずれも過去最多の学生・園児数を得て順調に推移しました。これは永年にわたる本学の幼児教育が世の中から認められていることの証にて誠にありがたいことと諸先達諸先輩に感謝しております。
- この数年間、内部留保の充実に力を注ぎ設備投資を抑制してきましたが、2003年度は学生のための設備として5号館を建設し、

また教育研究のための設備として学内LANを敷設しました。なお、永年にわたり皆様に親しまれた3号館は、耐震機能の関係から本年度取り壊しをいたしました。

- 短期大学を取り巻く状況は益々厳しさを増しておりますが、幸いなことに幼児教育の分野は、まだまだ保育者ニーズも強く、志望する学生も多くて有難いことと感謝しております。しかし順調なときにこそ一層気を引き締めて、教育の更なる強化・財務内容の充実に努力したいと考えております。 (塚田)

編集後記

世界各地での長引く紛争や国内の相次ぐ災害など心痛むことが多い昨今ですが、平和の祭典オリンピックにおける日本選手団の活躍が皆様の心を明るくするニュースとなったことでしょう。

柳城学院は、新学長を迎え将来の展望を探りつつ、更なる充実・発展のため次の一步を歩みたいと願っています。

皆様のお祈りのお支えを心から願っています。

(歴史資料室N)